

平成28年度第1回恵庭市救急医療対策会議記録

日 時：平成28年7月14日（木）18時～19時

場 所：保健センター 1階 機能訓練室

出 席：（委員） 貝嶋委員、福原委員、江川委員、富塚委員、齋藤委員

北越委員（副市長）、村上委員（消防長）、船田委員（保健福祉部長） 8名

※欠席 石川委員

（庶務） 保健センター長、保健課長、庶務担当主査、母子保健・食育担当主査
スタッフ

傍聴者：2名

1. 開会

2. 協議事項

会長の進行により、協議事項の審議が進められた。審議内容は次のとおり。

（1）平成27年度事業実施報告（救急医療対策関連）

- ①夜間・休日急病診療所の実績（患者数・市内外の割合・年齢構成等）
- ②夜間・休日当番医療機関の実績（患者数・年齢構成、診療別患者数等）
- ③二次救急への転送状況（転送者数・救急搬送件数・年齢構成、転送先）
- ④夜間・休日急病診療所運営費の状況

（2）平成28年度事業実施計画（救急医療対策関連）

- ①休日・夜間等救急医療体制
- ②2次救急医療への助成

（3）その他

- ①「救急安心センターさっぽろ」の現在の参加市町村状況について
- ②「こどもの救急」冊子の配布・利用について

事務局より説明。

委員からの質問・意見等は次のとおり。

【質問・意見】

（1）平成27年度事業実施報告（救急医療対策関連）

A委員 説明にあった患者による暴力等の事件は以前の会議で報告された一件だけか。

事務局 はい、昨年的一件のみです

B委員 救急搬送の状況の救急搬入件数とは夜間・休日急病診療所に救急車が来た件数か。

事務局 はい、救急車で夜間・休日急病診療所に運ばれてきた件数です。

B委員 救急搬出件数とは救急車で運ばれてきて救急車で他の病院へ転送された件数か。

事務局 救急車で搬入され救急車で搬出された方や、診療所にきて診療所で受診された後救急車で搬出された方もいます。

B委員 では救急搬出件数がすべて救急搬入件数に含まれているとは限らないのか。

事務局 はい、救急車で搬入され診療後に救急車で搬出された方もいるため重複しているものもあるが、すべてが含まれているわけではありません。

B委員 多くの場合、救急隊が救急指令を受けて救急告示病院を探すと思うが、その病院が受け入れなかった場合に診療所に運ばれてくるのか。

事務局 詳細までは把握していないが、確かに救急告示病院が受け入れなかった場合に運ばれてくることがあります。

また、1次という部分で受け入れてほしいと声がかかる場合もあります。

B委員 いずれにしても軽症ということで運ばれてくるのか。

事務局 はい、そうです。

B委員 夜間・休日急病診療所はあくまでも応急診療の場所であり、そのため処方される薬も少ないこと、もし症状が重症であり、診療所での対応可能な範囲を超えている場合は二次医療機関に紹介をきちんと促すことを周知するのはどうか。

事務局 ご意見を参考にさせていただき、対応を考えたい。

(3) その他 救急安心センターさっぽろについて

議長 恵庭市が対応している状況と大きくかわらない中で、経費負担も大きく、札幌市の患者受け入れ体制も変更がないため、今後も事業の実施状況や他市の動向を見たうえで判断し、29年度以降も参画を見送りたいということですね。

何か異議はありますか。

【意義なし】

議長 異議なしということなので、平成29年度の参画も見送りとし、事業の実施状況や他市の動向を見たうえで判断することとします。

3. 閉会